

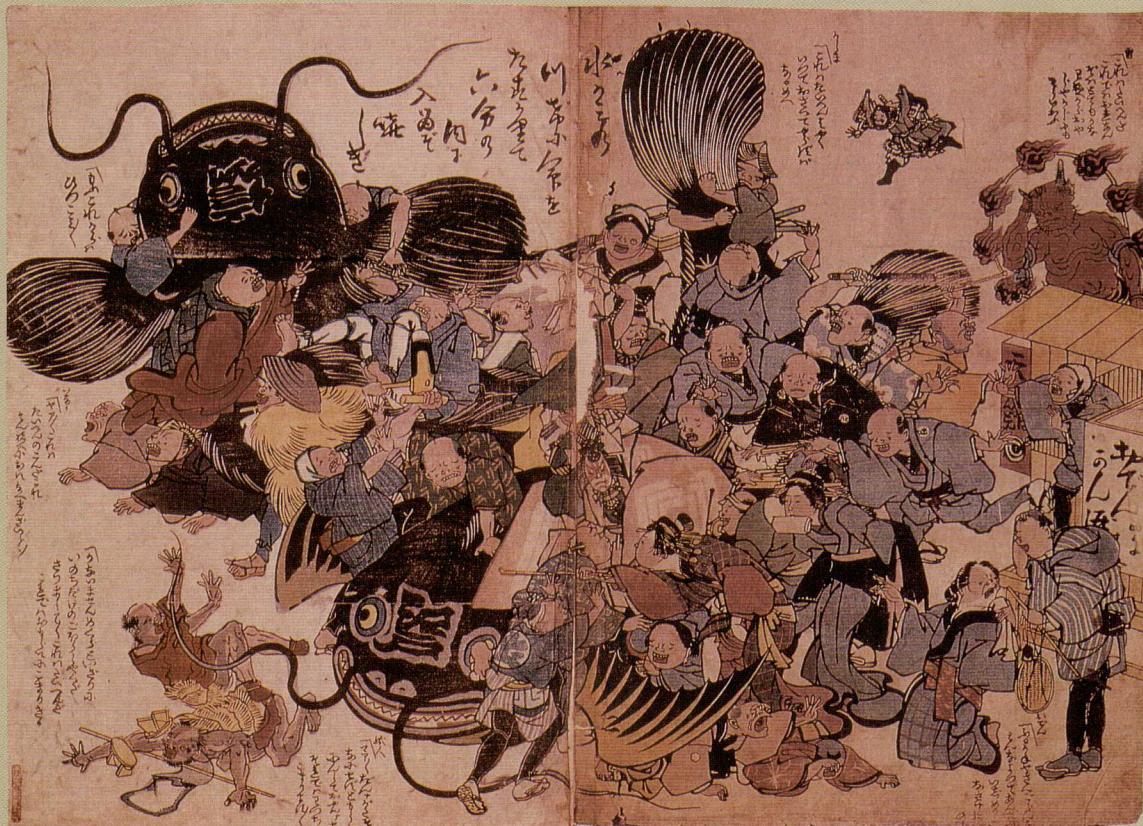
こうしょう

自動車技術会関東支部報
(高翔)

No. 30 1998 OCTOBER

特集 コミュニケーション

- 古代からの情報発信
- かわら版は災害情報をどう伝えたか
- 霊長類の社会とコミュニケーション
- 衛星利用の通信と放送
- テレワーク
- 情報と暗号化技術
- 安全交通とコミュニケーション
- 自動車とコミュニケーション



こうしょう

〈高翔〉

空たかく飛びかける

本誌創刊にあたり、初代編集長故
関敏郎先生が自動車技術会の発展
を希望して命名された誌名です。

自動車技術会関東支部報

〈目次〉

30号 1998 OCTOBER



特集 コミュニケーション

△特集△ コミュニケーション

関東支部長就任に当たって

●有馬光彦

3

古代からの情報発信——水平線に黒曜石を求めて ●池谷信之

かわら版は災害情報をどう伝えたか ●北原糸子

9

——江戸の情報メディアとコミュニケーション——

靈長類の社会とコミュニケーション ●杉山幸丸

13

衛星利用の通信と放送——その現状と将来 ●泉 武博

5

テレワーカー——電子メディアが仕事を変える ●首藤正道

22

情報と暗号化技術 ●松本 勉

27

安全交通とコミュニケーション ●平松金雄

30

自動車とコミュニケーション技術——変遷とその将来像 ●樋口健治

35

甘口・辛口——リレーエッセイ ●石川康雄、河原 寛

26、34

支部通信——ワイワイプラザ

40

あとがき

44

△表紙△

江戸時代のかわら版「鯵絵」。かわら版は、この時代の匿名のニュース媒体としてよく知られているが、その一つのジャンルとして鯵絵が多数出版された。地震の象徴である鯵が江戸の庶民にどのように受けとられ、変化していくか。くわしくは、本文「かわら版は災害情報をどう伝えたか」をお読み下さい。